

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2016
October
No.1056

10月

表紙 ほんべつきらめきタウン
フェスティバル2016会場



Pick up

- ✿ 開町記念式典で6人の功労者を表彰
- ✿ 教育行政の進むべき方向性
- ✿ 合併浄化槽が設置できます
- ✿ 本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

平成28年度 本別町開町記念式典

本別町開町記念の9月15日、開拓功勞者謝恩祭が山手町頌徳碑前で、平成28年度開町記念式典が中央公民館で執り行われました。



高橋正夫町長(左)から賞状と記念品を授与される功勞者

式典には関係者約70人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「各方面から大きなお力添えを賜り本年度開町百十五年を迎えました。今年は半月で四度の台風が北海道に上陸・接近するという未曾有の事態が起り、本町においても土砂の流出や道路損壊等により、今なおご不便をおかけしている方々もおり、町民の皆様が平穏な日々を取り戻されるよう、一日も早い復旧・復興にしっかりと行動して参ります。このようなときだからこそ、先人より受け継いだ不屈の開拓者精神を遺憾なく発揮し歩み続ける所存であります」と式辞を述べ、永年にわたり町発展のために尽力された6人の功績者を表彰しました。引き続き方川一郎町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して白石道子さんが「身に余る光栄。今日の感激を肝に銘じ、微力ながらより一層本別町発展のため、努力してまいります」と謝辞を述べました。



受賞者を代表して謝辞を述べる白石道子さん

開拓功勞者謝恩祭



9月15日午前9時30分から山手町頌徳碑前で「開拓功勞者謝恩祭」が開かれ、開拓功勞者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

開拓功勞者八翁

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 前田金四郎翁 | 荒井深四郎翁 | 岡出英四郎翁 | 幕崎公一翁 | 新内小太郎翁 | 鈴津繁太郎翁 | 東儀三郎翁 |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|

受賞者の皆さん (五十音順)



小倉富子さん
弥生町4番地4

平成11年本別町交通安全指導員に委嘱され、その使命を良く認識し、今日までの17年以上にわたり、お年寄りや子どもを交通事故から守ろうと、歩行者保護に日夜献身的に努力をされるとともに、定期的な街頭指導をはじめ、町の各種行事、交通安全教室等には率先参加、交通安全思想の普及と交通道徳の高揚のために尽くされた。特に、婦人の立場から「交通安全は家庭から」を主眼とした交通指導に意を注ぎ、実践的な指導方法により事故防止に努められており、これらの功績により平成28年に北海道善行賞を受賞されている。この活動を通じ本町の交通安全運動の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



藤川かね子さん
柏木町18番地

平成11年本別町交通安全指導員に委嘱され、その使命を良く認識し、今日までの17年以上にわたり、お年寄りや子どもを交通事故から守ろうと、歩行者保護に日夜献身的に努力をされるとともに、定期的な街頭指導をはじめ、町の各種行事、交通安全教室等には率先参加、交通安全思想の普及と交通道徳の高揚のために尽くされた。これらの功績により平成28年に北海道善行賞を受賞。また、本別義経太鼓保存会役員として、本町の伝承芸能の継承に意を注がれ、後継者の育成に努められるなど、本町教育文化の振興に尽力される。この活動を通じ本町の交通安全運動と文化振興の推進に寄与された功績は誠に顕著である。

功勞者表彰



河合篤史さん
弥生町48番地11

昭和62年本別町国民健康保険運営協議会委員に委嘱され、29年以上にわたり、また、現在は会長として、国民健康保険制度の趣旨普及、住民の健康管理等のため積極的に尽力され、地域住民の健康増進に寄与され、本町の国民健康保険事業の発展に大きく貢献されている。これらの功績により、北海道国民健康保険団体連合会表彰、北海道社会貢献賞などを受賞。また、本別町商工会副会長、本別町観光協会副会長、NPO法人銀河ほんべつ理事長として、商工会の基盤確立、拡充に努め、観光事業の発展、地域経済とまちづくりの振興に尽力される。この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



三井孝寿さん
西仙美里11番地6

昭和50年本別消防団第3分団入団以来、現在まで41年以上にわたり、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励恪勤地域の火災および治安の維持に貢献されている。この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任され、更に平成20年からは優秀な成績を認められて特に選ばれて副団長に任命され、消防団の円滑な運営に昼夜を惜しまず努力し、団の組織の強化に尽くされた功績により、北海道消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞。また、本別町社会教育委員長、仙美里小・中学校PTA会長、本別町農林同盟執行委員長を担われるなど、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



白石道子さん
栄町63番地2

平成7年本別町民生委員児童委員に委嘱され、その使命を良く認識し、今日までの20年以上にわたり、本別町民生委員児童委員として卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動および地域福祉の増進に意が注がれるなど、その献身的な努力は地域住民が等しく敬愛しているところである。また、地域の実情に精通した適切な指導に努められ、誠意をもった援護活動を通して健全な地域社会づくりに貢献され、北海道社会福祉協議会長表彰、全国民生委員児童委員連合会長表彰などを受賞されている。この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



山下眞一さん
勇足215番地1

昭和51年本別消防団第2分団入団以来、地域防災防衛の責任と郷土愛護の精神に燃え、平成25年に退団されるまで36年以上の長きにわたり、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励恪勤地域の火災および治安の維持に貢献されている。この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、卓越した指導力をもって分団の連絡調整並びに団員相互の融和に努められ、消防団の円滑な運営に昼夜を惜しまず努力し、団の組織の強化に尽くされた功績により、北海道消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞されている。この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



本別空襲を伝える会

成人式

ほんべつ学びの日フェスティバル

ふるさと給食

義経の里スポーツフェスティバル

本のまち夢づくり講演会

本別町教育委員会
(平成28年3月31日現在)

職名	氏名	職業等
教育長	中野博文	
教育長職務代理者	水谷令子	主婦
教育委員	布施耕一	農業
教育委員	鈴木清志	非常勤職員
教育委員	丑若理恵	農業

者の意見等を踏まえ、効率的な教育行政を推進するために毎年行っているもので、今後の教育行政の進むべき方向性についてまとめたものです。この報告書は、町議会に提出するとともに、町広報紙および町公式ホームページで公表し、次年度以降についても更なる事務改善を図りながら効果的な教育行政執行に努めてまいります。

教育行政の進むべき方向性

町教育委員会では、「平成27年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、学識経験

平成27年度教育委員会活動状況点検・評価報告書(抜粋)

平成27年度教育委員会の活動状況

- ▼教育委員会会議の開催状況
 - (1) 毎月1回の定例会議および臨時会議 合計14回(35議案議決)
 - ※うち、移動教育委員会会議を、町内小中学校および学校給食共同調理場で5回開催
- ▼法規・規則等の制定および改正状況
 - (1) 教育委員会関係
 - 規則の改正3件
 - 規程の改正1件

▼教育委員の活動状況

- (1) 教育委員会関係事業 計14日・延べ42人
- (2) 各学校関係各種事業 計12日・延べ29人
- ▼各審議会等審議概況
 - (1) 社会教育委員会 1回
 - (2) スポーツ推進委員会 4回
 - (3) 文化賞審議会 1回
 - (4) スポーツ賞審議会 1回
 - (5) 学校給食運営委員会 1回

▼教育費予算の状況

平成27年度の一般会計教育費の最終予算額(人件費等含む)は5億9382万5000円で、一般会計予算総額に占める割合は8.6%となっております。

自己点検評価

教育委員の主な活動としては、定例および臨時の教育委員会会議を開催し、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議や審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能を十分に果たしてきました。また、各小中学校に向いて移動教育委員会会議を開催し、学校運営の現状や課題等についての認識や理解を深めるなど、教育委員会活動の活性化を図ってきています。

教育行政の推進については、地方教育行政における責任の明確化や首長との連携強化等を図るための地方教育行政の改革がなされ、平成27年4月から新たな教育委員会制度がスタートしました。新制度に基づいて設置された総合教育会議では、首長と教育委員会が共通認識の下、学校教育や社会教育の更なる充実を図るために、「本別町総合教育大綱」を策定しました。また、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及活動に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

今後の方向性

平成27年4月にスタートした新たな教育行政制度の下、首長主宰による総合教育会議で教育・学術および文化の振興に関する総合的な大綱を策定しましたが、時代の変化に対応した教育施策を展開するため、大綱の方針に基づいた施策を確実に実践していくとともに、地域全体で学びを支援する取り組みを充実させていきます。地域全体で学びを支援する取り組みについては、文部科学省の指定を受けながら、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた調査・準備を進めてまいります。

今後も引き続き、教育委員会の重要性和教育委員としての認識を高め、町民の皆さんに信頼される教育委員会として教育行政の執行に努めてまいります。

「平成27年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページ「行政情報」でご覧いただけます。
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/>

問い合わせ
教育委員会管理課総務担当
☎22-2331

国民年金

国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある人へ

その174

保険料の後払い(追納)をお勧めします!

国民年金保険料の免除(全額免除・一部免除、法定免除)や納付猶予、学生納付特例の承認を受けた期間がある場合、保険料を全額納めた場合と比べると、老齢基礎年金(65歳から受け取れる年金)の受取額が少なくなります。

将来受け取る年金額を増額するため、免除等を承認された期間の保険料については、さかのぼって追納することができます。

追納は申し込みが必要です

年金手帳または基礎年金番号のわかるもの、印鑑をお持ちになり、住民課戸籍年金担当または帯広年金事務所まで手続きしてください。申し込みをすると、年金機構から納付書が郵送されますので、最寄りの金融機関などで納付してください。

注意事項

- ・追納ができる期限は、追納が承認された月の前10年以内の免除等期間に限られています
- ・承認された期間のうち、原則古い期間から納付していただきます
- ・保険料の免除もしくは納付猶予を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降に保険料を追納する場合は、承認を受けた当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされますので、早めの追納をお勧めします(平成28年度に申し込みした場合は、平成25年度以前の保険料が加算対象)

参考

今年度中に追納する場合の保険料(月額。全額免除のみ掲載)

追納額	追納額
平成18年度	15,000円
平成19年度	15,030円
平成20年度	15,140円
平成21年度	15,230円
平成22年度	15,490円
平成23年度	15,280円
平成24年度	15,130円
平成25年度	15,100円
平成26年度	15,250円
平成27年度	15,590円

※平成26・27年度は追納加算額なし

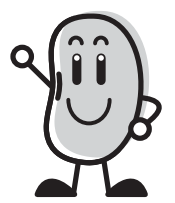
詳しくは 住民課戸籍年金担当へ

帯広年金事務所
☎0155-255-8113
日本年金機構のホームページ
<http://www.nenkin.go.jp/>

本別町全域(本別市街地の

公共下水道区域を除く)で

合併浄化槽が設置できずにお困りの方へ



平成11年度から農村村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになりました。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにがりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。

平成29年度に設置を希望する人は、平成28年11月末日までにお申し込みください

受益者が負担する金額



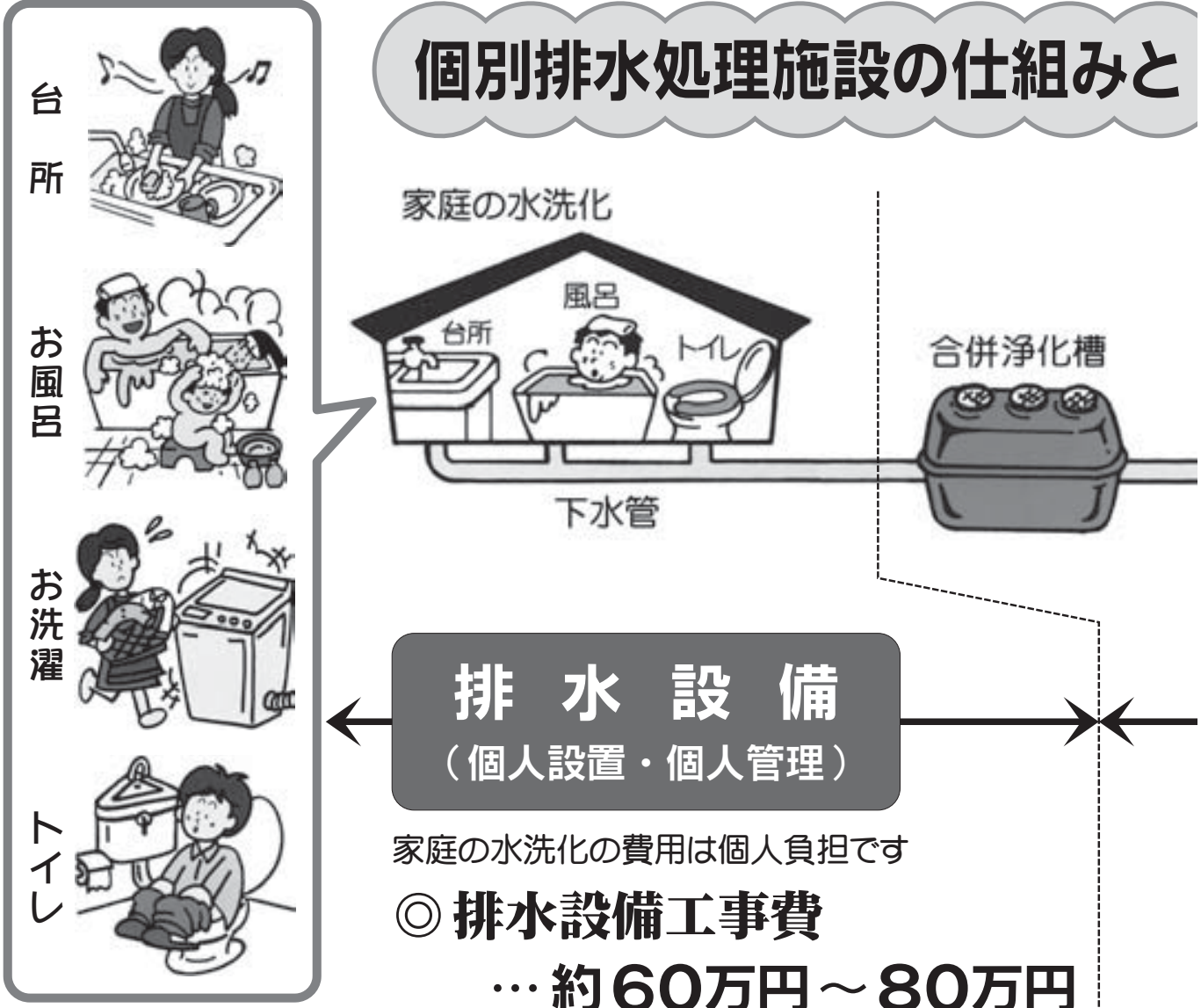
個別排水処理施設 (町設置・町管理)

- ◎設置時 **受益者分担金**
 - ※10人槽までは100,000円
 - ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります (翌年度から年4期、5年分割の20回払い)
- ◎設置後
 - 使用料(毎月)

5人槽	3,183円
7人槽	3,982円
10人槽	5,163円
11人槽以上	10人槽の料金に1人槽増すごとに432円を加算した額
 - 電気料(毎月)……約800円～1,800円 (5人槽～10人槽の場合) 浄化槽内のばっ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

浄化槽の汲み取り・点検は町で行います

個別排水処理施設の仕組みと



排水設備 (個人設置・個人管理)

- 家庭の水洗化の費用は個人負担です
- ◎排水設備工事費 ……約60万円～80万円 (トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

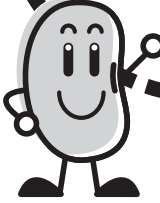
排水設備工事の融資制度 (住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



お申し込み
お問い合わせは
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122



③ その他の手当（普通会計）

（平成28年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成27年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成27年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合 1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		13,024千円	194,388円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒ (家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1 限度額9,500円)に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕 借家限度額 27,000円 〔持家〕 なし	17,896千円	173,747円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,200円 10km以上~15km未満 7,100円 15km以上~20km未満 10,000円 20km以上 12,900円	異なる	〔交通機関利用〕 55,000円 〔交通用具利用〕 20km以上60kmま で5km刻みで支 給額を設定	1,727千円	53,968円
管理職手当	13% 院長、副院長、医長 13% 課長、室長、事務局長 12% 主幹 10% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	13,725千円	508,333円
夜勤手当	25%増し	同じ		246千円	49,200円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,761千円	30,362円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕 51,700円	同じ		12,728千円	91,568円

◆ 特別職等の報酬等の状況

（平成28年4月1日現在）

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給料	町長 747,000円	6月 2.025月分 12月 2.175月分 合計4.20月分 加算措置：当分の間支給停止
	副町長 616,000円	
	教育長 562,000円	
報酬	議長 292,000円	6月 2.025月分 12月 2.175月分 合計4.20月分 加算措置：当分の間支給停止
	副議長 230,000円	
	議員 185,000円	

◆ 職員の分限及び懲戒処分等の状況

職員の懲戒の件数（平成27年度）

処分事由	地方公務員法	戒告	減給	停職	免職	合計
法令に違反した場合	第29条第1項第1号	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合	第29条第1項第2号	0	1	0	0	1
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	第29条第1項第3号	0	0	0	0	0
合計		0	1	0	0	1

（注） 職員のうち地方公務員法に基づき懲戒処分に付された職員の状況であり、当該年度において同一の職員が複数回にわたって懲戒処分に付された場合は、重複して計上している。

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。

町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆ 一般行政職の平均給料月額、平均年齢の状況

一般行政職（平成28年4月1日現在）

区分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	282,200円	37.1歳
短大卒	334,300円	44.8歳
高校卒	315,200円	42.3歳
中学卒	358,500円	47.3歳
再任用	260,500円	60.3歳
全平均	307,200円	41.7歳

（注）「平均給料月額」とは、平成28年4月1日現在における一般行政職の基本給の平均である。

◆ 一般行政職の職級別職員数

（平成28年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成27年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	24人	22.2%	18人	16.4%
2級	主事、技師	4人	3.7%	7人	6.4%
3級	主査、副主査、主任	20人	18.5%	23人	20.9%
4級	主査、副主査	34人	31.5%	35人	31.8%
5級	課長、室長、課長補佐、次長	14人	13.0%	15人	13.6%
6級	課長、室長、事務長、事務局長	12人	11.1%	12人	10.9%
合計		108人	100.0%	110人	100.0%

（注）・本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
・標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
・平成19年度から6級制に移行している。

◆ 職員の初任給の状況

（平成28年4月1日現在）

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	176,700円	188,600円	176,700円	188,600円
	高校卒	144,600円	153,000円	144,600円	153,000円

◆ 職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額 (平成27年度)	1,488千円		-	
平成27年度支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.60月分 (0.75)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.60月分 (0.75)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%	

（注）（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

（平成28年4月1日現在）

支給率	本別町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.5563月分	20.445月分	25.5563月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (3%~45%)		定年前早期退職特例措置 (3%~45%)	
1人当たり平均支給額	12,134千円			

（注）退職手当1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種の職員に支給された平均額である。

第20回 ほんべつきらめき タウンフェスティバル2016



TATOO (本別出身 多東康孝さん・左) サウンドプロデュース和楽器バンド ZAN

ミニライブ May J.

郷土芸能 義経太鼓 郷土芸能 本別小唄

きらめくKID'S撮影会

明治 ○×クイズ大会

ミニライブ 市川由紀乃

お楽しみ抽選会

Bean's-1グランプリ優勝者

フリークライミング

ポニーばんばレース

元気くんと一緒に「はい、ポーズ！」

モンスターエンジン お笑いライブ



熱気球体験

花火点火セレモニー

東十勝花火大会

伝統吹き筒花火

来場者約38,000人、秋のイベントを満喫

本別最大のイベント、第20回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2016(実行委員会主催)が9月3日、4日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催され、町内はもとより、十勝管内外からたくさん家族連れや友人同士などが訪れ、初秋のひとときを楽しみました。

今年で20回目のメモリアルを迎えたほんべつきらめきタウンフェスティバル。開催直前に北海道に台風が3本通過し、会場が水に浸かるなどの被害がありました。実行委員などが昼夜に渡り水抜きなどの復旧を行った結果、一部の駐車スペースは使用できなかったものの、イベントは無事に開催することができました。

当日は、時折小雨が降ったものの、うまいものや友好都市徳島県小松島市物産市、包括連携協定を結ぶ白糠町物産市などが賑わいを見せたほか、1日目には、秋の夜空に6000発の花火が大輪を咲かせた東十勝花火大会、2日目には、May J.、市川由紀乃、ちはらさきが出演したミニライブ、戦隊ショー、ポニーばんばレースなど多彩な催しで来場者を楽しませました。また、子供たちに人気のふわふわランドや今年初登場のフリークライミング、イベントの最後に豪華景品の当たるお楽しみ抽選会などが両日を通して行われ、来場した約38000人が初秋の本別で見て、食べて、飲んで、遊んで、たくさんイベントを満喫しました。

終了御礼

9月3日・4日の両日、利別川河川敷地特設会場で開催いたしました第20回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2016には、十勝管内をはじめ、道内外から大変多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。台風の影響が心配されましたが、おかげさまで、2日間で約38000人にご来場いただき、大盛況にて終えることができました。イベントにご理解、ご協力賜りました多くの企業、団体、協賛各社と会場周辺の町内会、住民の皆様にご挨拶と心より感謝を申し上げます。

本別きらめきタウンフェスティバル
実行委員会 会長 野田 仁



会場準備



開催直前まで会場には多くの水たまりができ、トラックが入れず、実行委員は手作業でテントや椅子などを搬入しました。

地域貢献活動



地域貢献活動として、野田組(野田仁社長)が駐車場区画割り作業を、十勝道路(山口富仁社長)が会場周辺の草刈およびテレビ台の寄贈を、井原工業(井原章司朗社長)が大型スクリーンの設置を行いました。

新たな農業の担い手を激励

8 30

平成28年度の新規就農者激励会（町、JA本別町主催）が8月30日、JA本別町庁舎で行われました。今年度の激励会には、町内にUターンや結婚などで新規就農した、単身者2人と夫婦4組の10人が参加。町やJA本別町職員、農業委員会など農業関係者31人が出席して新規就農者らを激励しました。懇親会で就農者らは、それぞれ自己紹介した後、「本別の農業を盛り立てたい」「夫をサポートしたい」などと就農への抱負を語りました。



本中生、札幌で本別をPR!

8 26

本別中学校（池浦暢校長）3年生54人が8月26日、札幌駅で本別町の特産品やイベントをPRしました。この取り組みは、同23日から3泊4日で行われた修学旅行の中で実施されたもの。旅行前には、総合学習の一環として町内の特産品やイベントについて事前学習も行われており、生徒らは同駅構内でキレイマメ製品や加工品、ふるさと納税のパフレットなどを多くの人に手渡したほか、きらめきタウンフェスティバルへの来場も声高らかに呼び掛けました。



ゲームで大盛り上がり

8 31

ほんべつ「若者の輪」創造プロジェクト実行委員会主催による第2弾イベント「T SUMURAで交流しナイト」が8月31日、津村会館で開催されました。6月に引き続き実施された今回は、町内の若者約60人が参加。テーブル対抗のゲームで盛り上がった後は、町内飲食店やきらめきタウンフェスティバル会場で使用できるお食事券などが当たる抽選会も行われ、たくさんの笑い声が響き渡りました。イベント終了後には、参加者の多くが2次会に繰り出す姿もあり、市街地の夜が大変にぎわいました。



入所者と家族ら100人お祭り満喫

8 28

町老人ホームのふれあい祭りが8月28日、施設前駐車場で開かれました。会場では、職員手作りのやきそばやカレーライス、おしるこなどが振舞われたほか、義経太鼓の演奏や健康ダンスなどの催しも行われ、入所者やその家族など約100人が楽しいひとときを過ごしました。



北海道立農業大学校

前期を振り返り、
農大の出来事を
ダイジェストで紹介!

各学校の手作りページ

HELLO
農業大学校

体育祭・農大祭

7月2日～3日の2日間、第42回農大祭を開催しました。今年のテーマは「～全力で肥えろ～」です。1日目には体育祭が行われましたが、雨天のため急遽体育館で球技の実施となりました。2日目の一般公開では晴天に恵まれ、497名の来場者があり、焼き肉や抽選会など、地域の方々も大いに楽しみ、大盛況となりました。



体育祭



卒業生によるイベント



抽選会

農大行事フォトアルバム

入校式 4月7日

交通安全講話会 4月15日

強歩大会 5月27日



入校生代表宣誓



本別警察署による講話



32.195kmを完歩

スマート農業実演会 7月12日

オープンキャンパス 8月20日

本別町肉祭り 8月21日



高橋はるみ知事来校



牛体管理の体験実習



加工品販売

札幌と白糠で 本別町をPR

9 9~13
10・11

9月9日から13日に札幌大通り公園で開かれた札幌オータムフェスト2016第1期と9月10日・11日に白糠町で開かれたカミングパラダイスに本別町観光協会や町内の団体等が出店し、多くの観光客らに本別自慢の特産品と味覚をPRしました。オータムフェストでは、キレイマ味噌を使った豚丼と豚まん、生豆や甘納豆などの加工品全65種を販売。中でも、豚まんは「黒まん」の商品名で本別産小麦を使った黒い皮とその大きさに注目が集まり、行列ができる人気ぶりを見せました。カミングパラダイスでは、トマト、ごぼう、にんにくなどの生野菜とスイーツ商品、豆加工品など54種を販売し、多数の商品を完売するなど、本別町の出店ブース前は2日間ともに大変にぎわいました。



オータムフェスト



カミングパラダイス

立江小との交流を 堂々報告

9 7

勇足小学校5・6年生による友好都市徳島県小松島市立江小訪問団の交流研修報告会が9月7日、勇足小学校で行われました。同団は、7月22日から24日に同市立江小を訪問しており、報告会では児童19人がパソコンとスクリーンを使いながら交流の様子を堂々と発表。児童らは、「海水浴が楽しかった」「北海道では体験できないことができて、一生の思い出になった」などと語り、保護者や地域の人など約30人が、耳を傾けました。



目を輝かせて 親子の時間

9 9

家庭教育支援事業「なかよし」によるばまキッズまつりが9月9日、子育て支援センターで行われました。今年も職員や町内のママたちによる手作りのワッペン、椅子、おもちゃなどのほか、髪飾りやポーチなどのお店が並び、来場した25組51人の親子がお買い物も満喫。ゼリーすくいやおかしくじなどのゲーム、紙芝居や人形劇などの公演もあり、子供たちは目を輝かせながら楽しい時間を過ごしました。



本別町の 川の歴史を紹介

9 6~

歴史民俗資料館の企画展「川が育てたふるさと」が9月6日から同資料館で開催されています。本別町の川や橋に関する地図、写真、年表、流送に使われた道具など約100点の資料を展示。川とアイヌ文化の関わり、開拓や産業・交通を支えた川の歴史、現在の川と橋の様子、水害との闘いなど、さまざまな視点から河川の大切さを伝えています。展示を巡りながら答を探すクイズラリーもあり、楽しみながら川への理解を深められる内容です。企画展は11月30日まで開催されます。



バーベキューで交流し、 介護の苦労分かち合う

9 7

在宅介護者を支える会（遠山女子会長）のリフレッシュ事業「ひばりの会」が9月7日、本別公園ビーフハウスで開かれました。同支える会は、在宅で家族を介護している人の苦労や悩みを分かち合う場として、20年以上活動しており、この日は会員や介護者など約30人が参加。バーベキューとゲームで交流しながらおしゃべりを楽しみ、笑顔のひとときを過ごしました。



銀メダル受賞と 実行委員会解散を報告

9 1

5月25日に開催されたチャレンジデー2016で銀メダルを獲得した本別町チャレンジデー実行委員会（大西光夫実行委員長）が9月1日、役場を訪れ高橋正夫町長に受賞を報告しました。今年度は当日の天候が悪く、昨年を引き続き金メダル獲得とはなりませんでしたが、大西実行委員長は、「6回の取り組みで多くの企業、町民にチャレンジデーが定着したと考えており、今年度限りで実行委員会は解散することになりました。来年度は、新たな形で町民の皆さんにスポーツに親しんでいただけるイベントを検討していきます」と語りました。



安全運転をお願いします

9 2

勇足小学校（吉藤清孝校長、50人）全校児童による交通安全キャンペーンが9月2日、同校前の国道242号線沿いで行われました。本別警察署員の協力のもと、児童らは2人1組になって道行くドライバーへ「安全運転をお願いします」などと声を掛けながら、缶ジュースとポケットティッシュ24セットを手渡し、交通安全を訴えました。



野菜いっぱい詰めナイト

9 16

第40回夜でかけナイト（実行委員会主催）が9月16日、銀河通り・大通り商店街で開かれました。今回の目玉は、格安で行われたジャガイモ・タマネギの詰め放題。会場のアースホール前には開始前から30人以上が行列をつくり、スタートの合図とともに多くの人がバケツいっぱい野菜を詰め込み、笑顔で持ち帰りました。この他、人気キャラクターの映画鑑賞会や抽選会も行われるなど、商店街の夜がたくさんの家族連れでにぎわいました。



自然環境の大切さを学ぶ

9 22

観察や実験を通して児童の知的好奇心を育て、科学に親しむ講座「図書館でキッズはかせになれる！～秋の自然観察バスツアー」が9月22日、音更町の十勝エコロジーパークで行われました。参加した小学生15人がバスで図書館を出発し、エコロジーパークでウチダザリガニ釣りや植物観察体験を楽しみながら、専門スタッフによる自然環境の講話を聞きました。また、午後からは帯広市の十勝川インフォメーションセンターを見学し、十勝川流域の川に関するさまざまな情報や治水の歴史、川と自然の楽しみ方などに触れました。秋の一日、参加した児童は「キッズはかせ」を目指して、目を輝かせながら自然の大切さを学びました。



音楽の力で復興支援

9 17

東日本大震災復興支援第45回本別町音楽祭（町文化協会・町教育委員会主催）が9月17日、中央公民館で開催されました。町内の6団体2個人、総勢88人が出演し、吹奏楽やピアノ、ハーモニカ演奏などを披露。日ごろの練習の成果を発揮した素晴らしいメロディーを奏でると、およそ150人の来場者から温かい拍手が送られました。また、会場には震災復興を支援するための募金箱が設置され、来場者等から寄せられた義援金は8,043円となりました。



自慢の歌声とダンスを披露

9 14

仙明カラオケ同好会（川東義一会長）主催による第16回カラオケと芸能の夕べが9月14日、仙美里地区公民館で開催されました。川東会長のあいさつに引き続き、ステージでは、同会会員や、地域の人など計約50人が華やかな衣装を身にまとい、自慢の歌声や寸劇、フラダンスなどを披露。会場を訪れた同地区の会員など約80人から、温かい声援と大きな拍手が送られました。



親子でレク&アウトドアクッキング

9 10

町教育委員会主催のあかげら少年団が9月10日、町体育館で開催されました。この日は前期最終回となり、「親子でレクリエーション&アウトドアクッキング」というテーマで行われ、団員とその親や兄弟など18人は、くつ飛ばしやしっぽとりバトルなどの競技に挑戦。紙飛行機大会では、それぞれが自由考えて作った紙飛行機を飛ばし、最高で15m50cmの飛距離が記録されました。その後、参加者は2つのグループに分かれ、鶏肉のコーラ煮とミネストローネ風スープを分担して調理し、出来上がった料理をみんなでおいしく食べました。



おいしくカルシウム不足を改善

9 16

本別町食生活改善推進員協議会主催による「生涯骨太クッキング」が9月16日、健康管理センターで開催されました。毎日の食卓に乳製品を取り入れ、規則正しい食習慣を身に付けることを目的に開催。参加した約20人は同会の小泉優子会長の説明を聞いた後、4つのテーブルに分かれ、小泉会長ら4人の講師のアドバイスを聞きながら、「シーフードトマトクリームパスタ」や「さけるチーズとポテトのサラダ」など4品を調理しました。最後に参加者は自分たちで作った料理を、感想を話し合いながらおいしくいただきました。



介護技術を伝授

9 13

町老人ホームと向陽町自治会（山田鶴雄会長）との交流会が9月13日、町養護老人ホームで行われました。この交流会は、同ホームの地域貢献事業として同自治会の協力のもと実施されており、この日は介護技術教室と題し、参加した15人へ、職員が高齢者の立ち上がり動作の介護方法などを伝授。続いて、入所者9人とともにボールを使ったレクリエーションやカラオケのほか、お茶菓子を囲んでのお話など、約30人でなごやかなひとときを楽しみました。



情報を広報電算担当へお寄せください
 ☎22-8121

自治大学へ派遣研修

企画振興課武田敏英主査（43）が10月6日から12月22日までの期間、研修のため自治大学校（東京都）へ派遣されます。研修では、法律や政策などの行政執行に必要な知識を学びます。



みんなの健康

386

手術前後（周術期）に適切な口腔管理を行うことで、手術患者の在院日数の削減や術後の熱発件数を抑制できることが知られています。周術期における口腔管理の問題として以前より、人工呼吸器管理、気管内挿管による人工呼吸器関連肺炎があり、これは口腔内常在菌が人工呼吸器管理中に肺炎の起炎菌として、重篤な肺炎を起こすものですが、口腔ケアにより、その発生率を減少させることができます。手術後の気管内チューブ

手術時（周術期）の口腔



日本歯科医師会 PRキャラクター

いきます。このようなADL（日常生活動作）が低下した患者では、歯や歯周組織よりも口腔内粘膜、特に舌の細菌管理が大変重要となつてきます。また気管内チューブ、酸素マスクが装着されたままのことが多く、呼吸管理のため、筋弛緩剤や鎮静剤等が投与され、しゃく、嚥下に伴う筋肉の運動が抑制され、また、開口を保持した状態になっているため、常に口腔内

このように、周術期の口腔環境は細菌学的に非常に不利な条件となることを認識し、口腔ケアをすることが重要となります。また、専門的口腔ケアを受けると約1週間、細菌数を低いレベルに保つことができるといわれており、入院、手術前に受けることが望ましいと考えられます。

かとう歯科
院長 加藤英俊

の乾燥が起こっています。健常者と比較し、気管内チューブで人工呼吸管理をしている患者では、細菌数が10倍以上という調査結果もあります。また、経管栄養、胃ろうなど経口摂取を行っていないグループでは、口から食事しているグループより4倍ほど口腔内細菌が多いことも分かっています。これは口の中には剥離した粘膜上皮、水分、歯周ポケットからの血液など細菌の栄養となるものがあるためです。

未来に輝く子どもたち



本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



栄町
河野 結心ゆい
(亜友美ママ)



柏木町
佐久間 圭翼きずな
(由香ママ)



南4丁目
西山 琳りん
(亜沙稀ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています。

ご寄付ありがとうございました

平成28年8月16日から9月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定
長いも 15kg 帯広市 足助博郁
トマト 30kg 勇 足 逸見孝雄
- ★本別町医療保険福祉施設等整備基金
金 50,000円 弥生町 古田美栄子
- ★中央公民館
基盤・盤石 1組 南2丁目 多東美雪

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

- 金 100,000円 兵庫県 和田一彌
- 各 金 20,000円 神奈川県 安田賢一郎
- 千葉県 金 眸 愛知県 中川雄貴
- 鳥取県 西田篤司 東京都 JUNG JAE HOON
- 山口県 折田雅彦 神奈川県 伊藤 俊
- 各 金 10,000円 埼玉県 島田 圭
- 福岡県 佐藤雅彦 札幌市 高橋大介
- 神奈川県 山田純一 大阪府 近藤宏樹
- 神奈川県 藤田浩之 神奈川県 大西 徹
- 大阪府 北村 満 栃木県 八代 忍
- 愛知県 星野 稔 宮城県 松田麻里
- 札幌市 村崎健太郎 石川県 小坂星太郎
- 富山県 篠田和男 兵庫県 長谷川麻記

- 群馬県 時澤 俊也 茨城県 東 條 敏 伸
- 兵庫県 山田昌一 大阪府 大 西 英 周
- 神奈川県 木村研太 愛知県 山 田 卓 矢
- 東京都 涌井絵里子 千葉県 中 崎 鉄 平
- 埼玉県 由井正之 東京都 熊 谷 和 華
- 愛知県 河村泰幸 愛知県 森 田 英 毅
- 札幌市 三浦 純 奈良県 鹿 子 木 智 貴
- 愛知県 青山千幸 東京都 保 科 智 子
- 群馬県 狩野路也 東京都 井 上 雄 裕
- 千葉県 桐山武志 神奈川県 森 中 義 明
- 七飯町 根本 榮 治 神奈川県 森 鈴 木 信 孝
- 愛知県 大島理沙 石川県 亀 井 治 人
- 愛媛県 安部耕治 山口県 熊 田 俊 紀
- 埼玉県 内田昭之一 埼玉県 熊 森 川 昌 浩
- 大阪府 栗岡 聡 愛知県 戸 田 昌 隆
- 福岡県 高木信吾 東京都 吉 田 吉 憲
- 神奈川県 大澤拓也 大阪府 山 梨 村 田 憲
- 東京都 西田浩雅 山梨県 嶋 岡 高 士
- 愛知県 近藤まり子 神奈川県 元 角 高 文
- 山形県 高山和人 石川県 幸 村 英 和
- 大阪府 長谷川和子 愛知県 池 野 弘 和
- 大阪府 西浦真奈美 滋賀県 谷 脇 泉 太郎
- 愛知県 野々垣雄介 愛媛県 水 野 将 徳
- 兵庫県 今岡丈士 愛知県 森 井 純 子
- 愛知県 鈴木浩佳 東京都 藤 原 敏 志
- 埼玉県 永瀬さやか 大阪府 相 川 一 起
- 埼玉県 佐藤正人 神奈川県 匿名 106人

計 金 1,190,000円

銀河ホールの足寄町

第11回道の駅まつり

あしよる銀河ホール21を会場に、足寄町の農産物や特産品を販売し、足寄町の味覚をPRします。

とき 10月23日(日)
午前9時~

ところ あしよる銀河ホール21前
詳細 あしよる観光協会
☎25-16131



陸別町「りくべつ」のおあずけプリン」販売中



りくべつ低温殺菌牛乳を材料とした「りくべつミルクのおあずけプリン」が販売中です。このプリンには、冷凍保存されたものを常温で半解凍させてから食べるもので、牛乳本来のほのかな甘さと濃厚でさらりとした食感が楽しめます。ぜひ一度、ご賞味ください。

種類・価格 プレイン(330円)
かばちゃ(370円)

販売・詳細 陸別町観光物産館(道の駅内)
☎2712012

本のある暮らし 187

戸籍のまど

お誕生

8月後半から
9月前半の
届出分

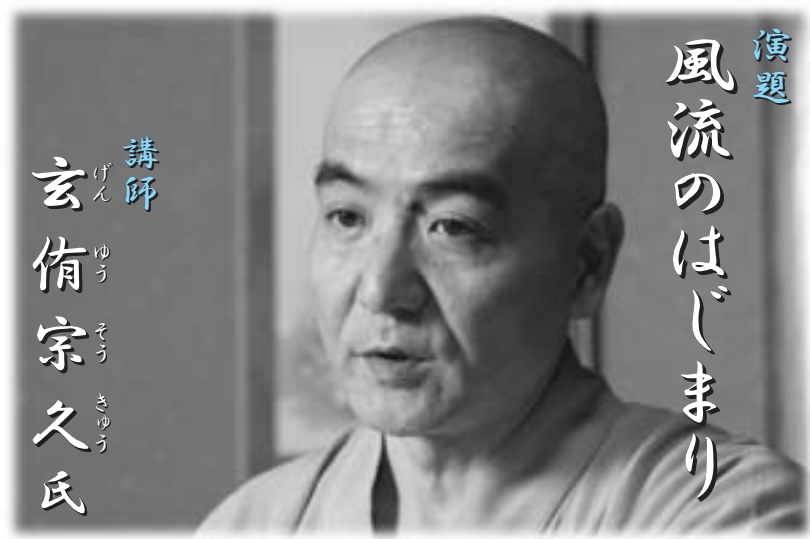
河野 柚夢^{ゆめ} 司^し 麻由^{まゆ} 8/11 勇足元町
松井 里央^{りお} 一^い 絵里香^{えりか} 8/30 柳町

おくやみ

松本 直樹^{なほ} 62歳 8/14 北8丁目
樋渡 紀子^{のりこ} 75歳 8/16 山手町
青木 順一^{のぶいち} 64歳 8/21 南4丁目
荒ノ 子^こ 94歳 8/22 東町
松井 啓^{あきら} 82歳 8/25 山手町
村上 征子^{ゆきこ} 78歳 8/25 南4丁目
本寺 頼勝^{たのかつ} 100歳 8/30 追名牛
野原 清^{きよ} 98歳 9/1 北4丁目
星 端枝^{はなえ} 78歳 9/1 仙美元町
星 明^{あきら} 76歳 9/6 共栄
武市 恵美子^{けいみこ} 60歳 9/8 勇足西1
南 武男^{たけお} 74歳 9/11 東町

本のまち 夢づくり講演会

今年、芥川賞作家で僧侶である玄侑宗久^{げんゆう そうきゅう}氏をお迎えし、楽しく生きるための心のあり方を語っていただきます。どうぞご来場ください。



●プロフィール● 1956(昭和31)年福島県三春町生まれ。慶應義塾大学中国文学科卒。さまざまな仕事を経て、現在は福聚寺住職。2001年「中陰の花」で第125回芥川賞を受賞。小説や仏教にまつわるエッセイなどの執筆活動が続ける。作品に「リーラ 神の庭の遊戯」「テルちゃん」「祝福」「光の山」など多数。新聞・テレビ・ラジオでも活躍中。

とき 10月18日(火)
午後6時30分開演(午後6時開場)
ところ 本別町中央公民館大ホール **入場無料**

図書館の「玄侑宗久コーナー」で作品にふれてみませんか?



お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

わたしたちのまち

前月比
人口 **7,456人(-22)**
男 **3,664人(-12)**
女 **3,792人(-10)**
世帯数 **3,726戸(-8)**
〔8月末日住民基本台帳〕